

2006 年度

科目名 日本佛教史 A	対象学科・学年 文学部日文 2回生 文学部英米 2回生 文学部文財 2回生 人間人社 2回生	担当者 梯 信暁
授業テーマ 古代日本佛教の展開		
授業の概要と目標 6世紀以降、日本の文化は、なんらかのかたちで佛教の影響をうけてきました。さまざまな思想・信仰と習合して日本人の習俗・習慣を形成してゆくとともに、個人の尊厳を自覚させるという機能をもはたしました。日本文化の基底をなす各時代の宗教思潮を求めるこことをめざしつつ、日本佛教の進展を支えた先達者達の業績にも触れたいと思います。前期開講のAでは、佛教伝来から平安時代までを概観します。八宗体制の成立とその根底をなす思潮について考えたいと思います。		
評価方法 期末レポート (80%)・出席状況 (20%)		
テキスト 『日本の宗教』	著者 堀一郎	出版社 大明堂
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 (1)オリエンテーション：講義の目標と内容の概説 (2)佛教の伝来 (3)聖徳太子 (4)国家佛教の展開 (5)国分寺と東大寺 (6)最澄と天台宗 (7)空海と真言宗 (8)平安佛教の密教化 (9)験者の活動 (10)念佛の流伝 (11)貴族の信仰 (12)地獄と極楽の思想 (13)神仏習合 (14)聖の活動 (15)末法思想		